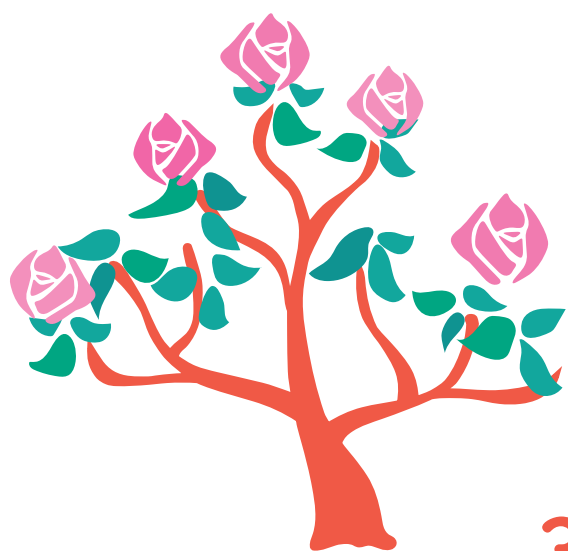




3

花を育てる

*市民参加

*産業化

*農業の活性化

需要の掘り起こしやうべブランドの創出、ガーデンシティを支える生産農家の育成などにより、地域産業の振興に取り組みます。

市民協働の花づくり

花づくりやガーデニングを好きな市民が、積極的にまちづくりに関与できる、市民協働の花づくりを促進します。



Action Plan

市民主体の花づくり

- ・自宅で育てた花苗などを「まちづくり」に生かす機会を創出し、市民の花のまちづくりへの取り組みを進めます。
- ・ガーデンマイスターが、有償で花壇コンクールやガーデンシティで使用する花苗などを栽培します。



充実した緑や花のバックアップ

花のまちづくりに対する市民等の活動を支援します。

Action Plan

花づくり寄付金制度の検討

- ・市民や企業などを対象とした花づくりスポンサーや寄付金制度を検討します。

花づくり相談窓口の開設

- ・ガーデンマイスターによる花づくりをする市民向けの相談窓口を開設します。

花づくりのガイドブックの制作（再掲）

- ・「花づくりのガイドブック」を制作し、花づくりへの活用や、講座や学校などの教材として活用していきます。

オンリーワンのうべブランド

オリジナルの花の生産や、それを加工した様々な商品開発など、うべブランドとして確立させる土台づくりを支援します。

Action Plan



▲宇部小町

宇部小町の商品化

- ・宇部で育てたつる性ミニバラ「宇部小町」の鉢植えやハーバリウムなどの商品化を支援します。

宇部オリジナルバラの開発

- ・宇部オリジナルのバラの開発や、ブランド化、産業化を支援します。

花に関する食品（商品）の開発

- ・宇部で生産した花を用いたオリジナルエディブルフラワーやオーガニック食品の開発を進めるとともに、市内での販売や、カフェ・レストランへ流通を支援します。
- ・菜の花や椿の植栽を推奨し、花から採取した油（菜種油や椿油）の商品化を支援します。



アイデアを出し合い 販路を広げよう

生産者、販売業者とともに、花きの需要の掘り起こしや販路開拓等を進めます。

Action Plan

需要の掘り起こし

- ・花壇コンクール用の花苗などは、生産者と調整を図りながらアウトソーシングを行い、段階的に生産者へ移行していきます。
- ・公共施設や企業などの窓口や公共工事現場などへ、イメージアップのための花の装飾を推奨します。
- ・病院や介護施設などでのガーデンセラピーを推奨します。
- ・市が実施する事業での積極的な花の活用や、人生の記念日での花のプレゼントを推奨します。



販路の開拓・拡大

- ・市内販売店への販売ルートの拡充を支援します。
- ・販売について、インターネットマーケットを活用するなど、国内外への販路拡大を支援します。
- ・流通拠点として、宇部港や山口宇部空港の活用も検討します。

生産・流通の新たなシステムの検討

- ・市民へ高品質で安価な花苗等を供給するため、市民と生産者をつなぐ、生産から流通までの一貫したシステムの構築を検討します。



花き生産を盛り上げよう

生産体制の強化や生産物の質の向上を図るために、生産者の確保やスキルアップ、後継者問題の解消などに取り組みます。

Action Plan

花苗の生産の拡大

- ・切り花に加え、花苗や宿根草の生産を拡大し、ガーデンシティうべへの活用を図ります。

営農法人化・企業参入

- ・一定規模の土地について、複数の生産者が共同で生産し、効率的な生産体制が確保できる営農法人化や新たな企業の参入を支援します。

先進生産者の取り込み

- ・市内外の先進生産者にガーデンシティうべへの協力を促し、技術協力を仰ぐことで、市内生産者とともに新規事業の参入の可能性を探るなど、活発な活動につなげます。



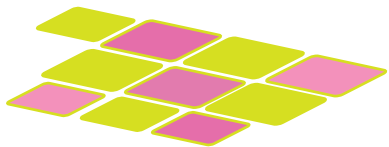
新規就農者の確保

- ・山口県立農業大学校や市内の高等学校などと積極的に連携し、ガーデンシティうべの取り組みや補助制度などを紹介し、新規就農者の確保に努めます。

ICT、IoT の導入

- ・生産性の向上、省力化、効率性・安定性の確保のため、生産管理・発注管理などへの ICT、IoT 技術の導入を支援します。
- ・生産体制、経営マネジメントの強化のため、生産者の蓄積したデータに対し、大学やコンサルタントなどの専門家が分析・評価などを行うバックアップ体制の構築を図ります。





遊休農地を利用して まちの活性化につなげよう

北部地域を中心に点在する遊休農地について、観光資源としての活用などに取り組みます。

Action Plan



景観作物の植栽（再掲）

- ・道路沿いや中山間地域の遊休農地への景観作物の植栽を推進し、スケールメリットを生かした観光資源等として再生を図ります。
- ・花の種は購入するだけでなく、他の地域で採種した種を有効活用できる仕組みを構築します。

バックヤードとして利用

- ・ガーデンマイスターが栽培する花苗用バックヤードとして、遊休農地の利用を検討します。

